

第1回小中学校研究主任研修会

域内の小中学校の研究主任が一堂に会し、講話と協議をとおして、研究主任としての役割について理解を図り、各学校における校内研修の充実を図るために、「第1回小中学校研究主任研修会」を去る5月27日(水)に開催し、49名が参加しました。

島尻地区出身の琉球大学川上一准教授が「全員参画の校内研修を推進するための研究主任の役割」と題して、見通しを持つ、主体的取組、充実した研修、効果性、協働意識をキーワードとして、研修改善の視点や研修方法の改善、研修評価の視点を実践事例を示しながら、講話していただきました。

協議はグループ毎に互いの課題やその解決に向けたアイデアを提供するなど、研究主任としての役割等について、理解を図ることができたようです。



写真1 川上一琉大准教授による講話

【研修会の概要】

- |   |                            |                 |
|---|----------------------------|-----------------|
| 1 | 開会のことば                     | 司会              |
| 2 | 所長あいさつ                     | 島尻教育研究所 所長 上原雅志 |
| 3 | 講話                         | 琉球大学准教授 川上一     |
|   | 「全員参画の校内研修を推進するための研究主任の役割」 |                 |
| 4 | 協議                         |                 |
|   | ○授業力を高めるための校内研修体制づくり       |                 |
| 5 | グループの発表                    |                 |
| 6 | まとめ                        | 琉球大学准教授 川上一     |
| 7 | おれいのことば (受講者代表)            |                 |
|   | ○金城和美 (糸満市立糸満南小学校)         |                 |
|   | ○下地早苗 (豊見城市立伊良波中学校)        |                 |
| 8 | 閉会のことば                     | 司会              |



写真2 協議の様子

【講話の概要】

- 講話の前に
- 1 校内研修とは？
  - 2 校内研究とは？
  - 3 校内研修の充実
  - 4 マネジメントサイクルを踏まえる
  - 5 研修の改善の視点
  - 6 研修方法の改善
  - 7 研修評価の視点
  - 8 参画・協働型の研修
  - 9 研究主任への期待



写真3 グループの発表

受講者の感想

- 研究主任の役割は何なのか、どうしたらいいのかという大きな不安がありましたが、「コーディネート」することだとわかり、頑張っていこうと思いました。早速 RPDCA サイクルを実践し、常に研修はどうだったのか、改善の視点を意識して取り組んでいきます。明日から、研究主任として「発信」していこうと思います。
- 自校の教育課題を解決するために、実践法を焦点化したり、優先度を確認したり、共通確認や共通理解が必要だと分かりました。
- 他校の実践事例を紹介して頂きながら、具体的にどのように研修を進めていけばいいのかを、わかりやすく説明していただいたのが、良かったです。
- 協議では、一人一授業の取り組みや全体研修の内容など、どのような研修を行っているのか、情報交換を行うことが出来、それぞれの学校で苦勞している点や困っている点などを聞くことができ、自分だけじゃない、みんな頑張っていることがわかり、良かったです。

